

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [福山市立鞆の浦学園] 担当教諭名 [山口 悠] (特別支援学級1-9年 23名)

相手国・地域 [モルディブ]

海外学校名 [Thajuddeen School] 担当教諭名 [Thihama Mariyam]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	生活単元学習(知的)	海の豊かさを守ろう！	20
	自立活動(自・情)	海の豊かさを守ろう！	20

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	海の豊かさを守ろう！～Life Below Water！～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	To ensure a sustainable future, we need to keep our beaches clear of trash, and preserve a healthy marine ecosystem where sea life can thrive.



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 世界には、自分の知らないことがたくさんあることが分かった。 海という互いに共通の学習教材があり、そこに住む生き物や抱えている課題について交流ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分達の想いを相手に伝えたつもりでいたが、伝わっているのかどうかの把握ができない。「伝える」と「伝わる」は違うことが分かった。 相手国に対する理解をもっと深めるためには手立てがもっと必要であった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 英語は世界中で使われていること。 海のきれいな国でも海洋ゴミや生き物の減少が課題になっていること。 言葉が通じなくてもコミュニケーションを図ることができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本での当たり前は、世界の当たり前ではない。 これまでの授業では身に付けることができない力を、国際協働学習では身に付けることができること。 教師が楽しむことで、子ども達も楽しむことができること。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図で相手国見つけ 相手国調べ 英語で自己紹介 相手国の自己紹介を見る 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたこともない国である。 たくさん島のできている国。 英語に挑戦してみよう。 相手は英語が上手だな。 見た目も日本人と違うな。 	生単2 自立2
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> 磯たんけん 海洋ゴミの啓発運動 海で拾ったもので作品づくり 作品の販売 	<ul style="list-style-type: none"> 思ったよりゴミが少ないな。 海洋ゴミをゼロにしたい。 たくさんの人に海の魅力を知って欲しい。 たくさん売れた。 	生単8 自立8
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> 互いの活動報告 互いの活動に対する質問 メッセージの話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> モルディブにはどんな生き物がいるのだろう。 自分達の発表は伝わっているのかな。 	生単4 自立4
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 構図レイアウトの相談 壁画制作 背景→生き物 	<ul style="list-style-type: none"> 真ん中に地球を描きたい。 交流したことを思い出して、お互いの未来の海を描きたい。 	生単5 自立5
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 相手国に応援メッセージ これまでの活動をまとめたものを使って、したこととその時に思ったことを振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> コロナに負けず頑張りたい。 モルディブとの交流楽しかったな。 	生単1 自立1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてついてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	自己紹介のメッセージやオンラインでのやり取りを通して、見た目も言語も違う人がいることを知った一方で、海はつながっていて、抱えている課題は同じであることも知ったため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	本校の児童生徒はモルディブの児童の言っていることを、モルディブは、世界はそうなんだと、そのまま受け止めていたため。
主体的に考え行動する力	5	壁画の制作では、これまで交流したことを生かして、「自分達がモルディブの海を描きたい」と考えて、構図や描くものを主体的に考えて壁画を完成させたため。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	活動報告後、疑問に思ったことを質問した。通訳を通しての対話のため、何度も質問し合うことが難しく、単発のやり取りで終わってしまったため。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	お互いの海の現状から、どんな海を残していきたいのか、お互いの想いを入れたメッセージを考えることができた。メッセージをもとに、互いの海を描いた。想いをもとに活動できたため。